



教会だより ミルトス

ミルトスは、水がなくても育つ強い木であることから不死のイメージがあり、祝福と繁栄の象徴の木とされている。

日本バプテスト教会連合
八千代キリスト教会

牧師 小林政和

八千代市大和田新田 94-77

Tel:047-450-1536・Fax:047-473-3925

Eメール: gpnng725@gmail.com

郵便振替: 00190-4-554373

今年のみ言葉「私たちすべてのために」

私たちすべてのために、ご自分の御子さえも惜しむことなく死に渡された神が、どうして、御子とともにすべてのものを、私たちに恵んでくださらないことがあるのでしょうか。(ローマ書8章32節)

どなたでも ご自由にお入り下さい。お待ちしております。

日曜日・午前10時30分・礼拝

水曜日・午後1時30分・祈禱会

「神様を愛する者の遺産相続」

牧師 小林 政和

2月15日に、拉致被害者の有本恵子さんの御父・明弘さん(96歳)が死去されました。北朝鮮に拉致された被害者の親が在命中に全員返して欲しいとの願いも空しく、生存する親は横田早紀江さん一人だけになってしまいました。2月20日の石破首相との面会でも、早紀江さんは「ああ、有本様も間に合わなかったか。政府は何をしているのか。こんな大きな問題なのに、ちっとも進まない歩みに歯がゆい。拉致被害者全員が帰国できるように、一刻も早く解決をお願いしたい」と悲しみながら訴えられていました。有本明弘さんの娘恵子さんを愛し、待ち続けた愛の記憶が、誰の眼にも生々しく残るものです。

「断捨離」「終活」「死のお片付け」の言葉はどこにもあるようです。高齢になると「モノ」を増やさず、ため込んだ不要なものを処分しておくことは、子供や親族に対する愛の贈り物だと言います。遺品整理が簡単になるからそうです。キリスト者もこの世の考えに、ある程度同意できます。大いに捨てましょう。モノに執着せず、きれいに捨てることは主の喜ばれることだからです。財産をもって天国に行けないのですが、良い施しをして天に宝を積むことができます。お金に執着しても、認知症になると自分の預金すら出せなくなるのですから。注意したいものです。

賢明な皆様は、家族への遺産相続なるものは既に考えていらっしゃるでしょう。「遺産寄付」も良い事です。最高の遺産相続の一つに、「あの人はイエスを愛した人であった」と思われることです。イエスの最後の遺産の言葉として『私があなたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。』と言う言葉を残されました。

「断捨離」「終活」「死のお片付け」も結構なことですが、最高の遺産は何かと言うことです。それは「イエスに対するあなたの愛です」。子どもたちや友人たちに対する、心に残る記憶は、何より勝る贈り物です。あなたがイエスを愛しているが故の挙動は、子どもたちや友人たちに見られています。愛は内面の問題ですが、人々には見える形で現れるものなのです。そして、「親が生きたとように私たちも生きます」と言う日が来るでしょう。



2月2日(日)運営委員会

この日、日曜礼拝の後に行われ、1月の会計報告、2月の予定、4月20日イースター祝会について打合せました。



駐車場の花 (2月8日撮影)



(下橋)

上: 葉牡丹

右: プリムローズ

2月24日(月)～26(水)日本バプテスト教会連合総会と教職セミナー

天成園小田駅前別館で、日本バプテスト教会連合の「2024年決算総会」と、「教職セミナー」が開催されました。まずは、2024年活動報告と2024年度決算報告がなされました。質疑応答の後に決議され、賛成多数をもって承認されました。続いて、松田牧人師(オアシスチャペル利府キリスト教会牧師)による教職セミナーが行われました。最初に不健康な教会の兆候などが述べられ、「健康な教会は神の言葉に基づき、神の恵みにより、神の栄光のために、礼拝・交わり・弟子訓練・奉仕・福音宣教を通してキリストの命を人から人へ広げていきます」と結ばれました。(小林)



メンバーの訪問紹介

「八千代キリスト教会との出会い」

三 浦 大

八千代に引っ越してきたのは2020年12月でした。まだ新型コロナウイルスが猛威をふるっており、あまり出歩くこともなかった時期です。年は変わって3月になり、やっと新生活が落ち着き始めていたころ、自宅の郵便受けの中にコイノニア英会話教室の案内チラシが入っていることに気が付きました。その案内に申し込んだのが八千代キリスト教会にお世話になるきっかけでした。

19歳で初めての海外旅行をした私は、1週間の短いイギリスでの滞在で、日本とまったく違う生活様式や街中、田舎の風景にワクワクし、その素晴らしい体験が忘れられませんでした。6年前に新卒から5年ほど勤めた会社を辞め、ワーキングホリデービザの取りやすいカナダで少し働いてみようと思い立ちました。英語もそんなにできない中で、独学で毎日勉強し、カナダで1人で銀行口座を開けるくらいには英語ができるようになりました。結局現地での就職活動中にコロナウイルスが流行り始めてしまったので、日本に帰ることになりましたが、英語の勉強は楽しかったので続けています。

英語を使う機会がめっきり減った日本で、コイノニア英会話教室とリー先生、そして八千代キリスト教会に出会えたことは幸運でした。私が古いイギリスの音楽に詳しいこともあり、リー先生とすぐに打ち解けることができました。今ではリー先生は先生でもあり、とても親しい友人でもあります。もうすぐコイノニア英会話教室に通って4年になります。これからも英語の勉強を頑張っていきたいと思います。



教会及び連合のスケジュール(予定)

- 12月22日(日) クリスマス礼拝&祝会
- 12月24日(火) 16時〜クリスマス・イブ礼拝(キャンドルサービス)
- 01月01日(水) 新年礼拝
- 01月05日(日) 礼拝、運営委員会
- 01月12日(日) 地区連合同礼拝&成人式(練馬バプテスト教会)
- 01月19日(日) 聖餐式
- 01月26日(日) 「ミスター・ミセスを偲ぶ会」(練馬バプテスト教会)
- 02月24〜26日 連合教職セミナー(天成園小田原別館)
- 03月02日(日) ミルトス49号発刊・発送、運営委員会
- 03月06日(木) 龍ヶ崎(野崎宅)家庭集会
- 03月10日(月) 午前:東京地区牧師会、夕方:東京地区連合委員会
- 04月06日(日) 4月運営委員会
- 04月09日(水) タイ・チェンマイに派遣された福岡庸平宣教師の帰国報告
- 04月13日(日) 八千代キリスト教会総会
- 04月20日(日) イースター(復活祭)礼拝&祝会
- 04月29日(火) 午前:東京地区連合総会、午後:スプリングセミナー

祈って下さい

- 1)「東京地区連合30教会の祈禱課題」が、み心にそって実現しますように
- 2)横田めぐみさんはじめ拉致被害者の方々が早く家族のもとに帰れるように
- 3)ロシア軍に侵攻されているウクライナに平和が回復するように
- 4)イスラエルとパレスチナのハマスとの間に停戦合意が続きますように
- 5)上福岡教会の渋谷昌史師、抗がん剤治療が用いられ、健康が回復できますように
- 6)中溝玄兄と安藤真大兄が腰痛です。二人の回復のためにお祈りください
- 7)境幸子姉のお姉さん、「八木明子」姉が、イエス様を信じ救われますように
- 8)リーバックリ兄が貧血症、早く体力が回復できますように

3 分間講座 神 vs. サタン

悪魔(サタン)は、神から人の心を引き離す策略をめぐらし、隙があれば私たちを罪に陥れようとする厄介者です。その存在に気づかずに暮らしていると、それとなく悪魔が近づいてささやき、いつしか神への疑いの気持ちを植え付けます。楽園で暮らしていたアダムとイブをだまし、知恵の実(禁断の実)を食べさせたのが蛇に化身したサタンでした(創世記 3:4, 5)。神の問い詰めに、アダムとイブはあれこれ言い訳を並べたものの、それが聞き受け入れられる筈がありません。結局二人はエデンの園を追われます。同時に神は生きてゆくために二人に汗を流して働くこと、痛みを伴って子供を産むといった罰を与えました。

また、決して悪行に手を染めず、豊かな暮らしを続けながらも信仰心を崩さないヨブを神が賞賛すると、サタンは彼に災いを課せば必ず神を呪うようになるとそのかします。しかし子供たちを失い家畜を奪われ、ひどい皮膚病といった重ね重ねの苦しみに遭っても、ヨブの神への信仰は寸分も揺らぐことはなかったのです(ヨブ記 1:22)。また荒野で40日間の断食修行をした際、イエスにさまざまな誘惑を仕掛けたり(ルカ書 4:1-12)、ユダの心に入り込みイエスを裏切るように仕向けたのも、サタンの仕事とされています(ルカ書 22:3)。サタンはこのような姿を変えたり、巧みに言葉を操り、邪悪な気持ちを抱かせたりして相手の弱みに付け込むとするのです。では私たちは、サタンの謀り事から身を守るにはどうすればよいのでしょうか。それには聖書をよく知り、神への信仰を固く守ればサタンの誘惑に勝てるのです(ペテロの手紙 I 5:8-10)。神の鎧は力強く私たちを護り続けてくれます。サタンは以前、ルシファー(曙の子)という美しい名を持つ身分の高い天使でした。それが自分の勝手な欲望から神に背を向け、守護天使ミカエルと戦ったすえ、激しく燃える火の海に投げ込まれ、悪魔になってしまったのです。(池田)



ジョン・ミルトンの「失樂園」の挿絵「地球に向かうサタン」 ギュスターヴ・ドレ 作

編集後記:花粉症の季節がやってきました。年々発症に悩まされる人が増えているそうです。花粉量が多くなっているだけでなく、我々のアレルギー反応が過敏になっているからのようです。社会が複雑になり、人々が神経質になってストレスが溜まっていることもあります。時には、深刻な病気が潜んでいることもあります。素人判断をしないで、専門医に診てもらいましょう。(下橋)